

学校再編計画（案）についての意見交換会での質疑応答

令和3年12月19日開催 場所：西公民館多目的ホール 参加者20名

No.	質問・意見	教育委員会回答
1	クラスが1学年2から3クラスでなくても過去には1学年1クラスでも立派になった方も大勢いる。クラス数が少ないから教育できないというのはおかしい。高野台小学校を造ったこと自体が間違い。	今回の再編計画案の作成にあたってはまず学校の適正規模、望ましい学校全体の学級数の基準をアンケート結果等を踏まえ通学区域等審議会にて定め、その基準をもとに作成をした結果となっています。また、高野台小学校は建設当時には区画整理による人口増に対応するために必要だったと認識しています。
2	意見交換会で出た意見をどのように取り上げて行くことになるのか。	意見交換会で頂いた御意見等は、通学区域等審議会に御報告し、今後審議会ですらに検討していく際の参考とさせていただければと考えています。
3	学校再編はまちづくりの問題だと考えるが、なぜ町長がいないのか。	今回の再編計画についてはあくまで教育委員会にて策定を進めているものとなりますので、教育委員会のトップである教育長の出席とさせていただいています。
4	通学区域等審議会委員の「地域の代表者」はどのように決まったのか。再編の対象となっている地元の区長が参加してるものだと誤解されている。	通学区域等審議会委員の「地区の代表者」には審議会委員全15名のうち3名を区長会にて選出していただきました。地区の偏りがないように各中学区から1名ずつ3名の区長の方に審議会委員になっていただいております、具体的な再編計画案が出る前の学校の適正規模・適正配置といった町全体で学校をどうしていくかといった段階で委員を選出していただいております。今後も再編の対象となっている地区の区長が全員委員になっているといった誤解があれば訂正するよう検討したいと思います。

5	<p>どうしてこのような再編計画案になったのか。西小も高野台小も小さい学校のまま存続でいいのではないか。</p>	<p>今回の再編計画案の作成にあたってはまず学校の適正規模、望ましい学校全体の学級数の基準をアンケート結果等を踏まえ通学区域等審議会にて定め、その基準をもとに作成をした結果となっています。こちらとしても特に小学校については小さい学校でも地域の状況によっては存続することの必要性も認識しており一部の小学校はそのような案となっています。まずはこの再編案について皆様からの御意見を伺えればと考えています。</p>
6	<p>西小は避難所にもなっているので残してほしい。</p>	<p>仮に再編計画案のとおり西小が廃校となった場合の跡地利用については、また別に議論することになりますが引き続き避難所として利用することも選択肢のひとつだと考えています。</p>
7	<p>500メートル通学路が延びるのは子どもにとって大変なこと。実際に自分たちで歩いてみてから統合を決めてほしい。</p>	<p>西小と杉戸小の学区の境の方々については保護者の方々の意向の確認しながら通学区域の弾力的運用も検討したいと考えています。500メートル通学路が延びることが子ども達にとって大変であるということは教育委員会としても十分に認識しています。</p>
8	<p>西小のほうが通学区の真ん中辺りにあるので西小を統合校にしたほうがメリットがあるのではないか。</p>	<p>西小は昭和47年建築の建物となりますので、建物自体の寿命を考えると西小よりも高野台小を改修したほうがより建物が長く使用できることからこのような再編案としました。</p>
9	<p>どちらかを廃校にするのであればそこを中学校にしてほしい。</p>	<p>高野台地区の区画整理の段階では高野台中学校の建設の予定がありましたが、その後生徒数が想定よりも増えなかったととや町の財政状況等もあり建設を断念する決定をしており以前に説明会も実施しております。そういった状況を踏まえると廃校となる学校を中学校とすることは難しいと考えています。</p>

10	<p>学校の適正規模が1学年2から3クラスとあったが、少人数のほうがいい教育ができると思う。</p>	<p>教育の在り方が大きく変化しており文部科学省からも指針が出ておりますが、協働的な学びということでたくさんのいろいろな子ども達と関わり合いながら学んでいくということが非常に重要になってきています。少人数の良さもありますが、総合的に考えると一定程度の規模の子ども達のなかで学んでいくことは必要なことだと考えています。</p>
11	<p>通学路が延びることは弊害がとても多いと思う。</p>	<p>500メートル通学路が延びることが子ども達にとって大変であるということは教育委員会としても十分に認識しておりますので、今後の立ち上げる（仮称）統合準備委員会等で保護者の方々と十分に検討していきたいと考えています。</p>
12	<p>再編計画を策定するにあたり町のなかで上位計画や関連する計画はあるのか。町の計画で上位や関連計画の概要を説明してから学校再編の計画を説明しないといろいろな意見が出てしまうことになる。また、他の自治体の事例も参考にして問題を解決する方法を検討してほしい。</p>	<p>上位計画としては町の総合振興計画があります。また関連計画としては町の公共施設等総合管理計画や都市計画マスタープラン、立地適正化計画などがあると認識しています。意見交換会の進め方や他の自治体の事例についての御意見は貴重な御意見として頂戴させていただきます。</p>
13	<p>統合校となったとしても西小の歴史や伝統は引き継ぐようにしてほしい。</p>	<p>ひとつの学校がなくなるということは大変大きなことで歴史のある学校であればなおさらであると考えています。残すべきものはきちんと引き継ぎ、記録としてもしっかりと保存していきたいと考えています。</p>
14	<p>学校再編で学校が遠くなることによって若い世代が杉戸町に住むことを選ばなくなるのではないかと。世界では少人数学級がどんどん進んでいる。小さいながらもいい学校にしてくることが杉戸町の人口増にもつながっていくと思う。</p>	<p>少人数学級については小学校では一クラス35人ということで国が方針を定めており、現在段階的に実施している途中となっています。</p>

15	統合校が仮に18学級以上となった場合はどのように対応するのか。	現時点では統合校は18学級以上にならない推計となっています。今後大幅に子どもの数が増えるということがあれば再度検討することになると考えています。
16	放課後児童クラブはどのようになるのか。	仮に再編計画案のとおり西小と高野台小を統合するというになれば放課後児童クラブについても統合校に新たに設置するという方向になると考えています。
17	西小は避難所となっているが、廃校となると避難所が足りなくなるのでは。	仮に再編計画案のとおり西小が廃校となった場合の跡地利用については、町の町有財産活用検討委員会等でまた別に議論することになると考えていますが、そういった場でそのような御意見があったことを主張していきたいと考えています。
18	町の児童生徒が自分の子どもだと思って計画を進めてほしい。	今後もそのような気持ちで取り組んでいきたいと考えます。
19	西地区に中学校を是非作ってほしい。	貴重な御意見として承らせていただきます。
20	通学区域の弾力的運用とありましたが、近隣市町との広域行政を考えていくことも通学の問題を解決するひとつの方法だと考える。	貴重な御意見として承らせていただきます。